

## ミクリガヤ

*Rhynchospora malasica*  
C. B. Clarke

カヤツリグサ科  
Cyperaceae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 IB

選定理由 やや大形の暖地植物で、これまで「豊後水道域」の離島の崖下で、小群生地を確認している。植生遷移の進行による生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(東海道,近畿地方南部,中国地方),九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島),  
沖縄  
台湾,マレー半島,マレーシア

生育環境 海岸の崖下湿地。

現 状 1978年に、離島の崖下に生育する小群落を確認したが、人による攪乱はなく、持続して生育しているものと思われる。

## トラノハナヒゲ

*Rhynchospora rugosa* (Vahl) Gale  
subsp. *brownii* (Roem. et Schult.) T. Koyama

カヤツリグサ科  
Cyperaceae

## カテゴリー

大分県 IA  
環境庁 掲載なし

選定理由 県内ではため池の池畔湿地に群生するが、生育地は極めて希で、群生地の面積も狭い。近年、帰化植物が進入して生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布 中津・宇佐低地

分布域 本州(近畿地方南部,中国地方),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・  
宮崎・鹿児島),沖縄  
台湾,中国,旧世界の亜熱帯~熱帯

生育環境 低地の池畔湿地。

現 状 近年、湿地にメリケンカルカヤ (*Andropogon virginicus*) が繁茂し、生育地が攪乱されている。「別府湾沿岸域」の生育地は、道路拡幅のため1974年に消滅した。

## ノグサ

*Schoenus apogon*  
Roem. et Schult.

カヤツリグサ科  
Cyperaceae

## カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 掲載なし

選定理由 県内での生育地は希である。草丈の低い1年草で、その生育状態は湿地環境の変化に強く影響される。近年、生育地に帰化植物の進入が著しく、生育地が攪乱されて、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 中津・宇佐低地

分布域 本州,四国,九州(福岡・大分・鹿児島),沖縄  
マレーシア,オーストラリア

生育環境 低地の水湿地。

現 状 池畔湿地には、メリケンカルカヤ (*Andropogon virginicus*) などの帰化植物の進入が著しく、ノグサの衰退した所がみられる。